

若鮎おとる季節、茶処白川からお茶便り



# 白川の風



ますぶち園 情報誌  
2016年初夏号  
vol.57

心配の種であった冷え込みや遅霜の影響も少なく、ほぼ例年通りの時期に一番茶の収穫をすることができました。このためお茶の品質も良好で、昨年収量が少なく販売をお休みした、ちょっと贅沢な飲み茶「あら茶づくり新茶 里の香」も2年ぶりに販売させていただくことができます。鱒淵茶園の一番日当たりの良いテラス畑でとれた「あら茶づくり新茶 里の香」は限定500本限り・6月末までの取り扱いとなります。まだ新茶をお試しいただいていない皆さまにも、ぜひともご賞味いただければと存じます。

## 茶畑日記

### 茶畑からお茶の間へ直行便

今年も旨みがギュッと詰まった  
新茶が出来上がりました。

春先から順調に天候・気温が推移したためお茶の摘採も早くなることを予想しましたが、新芽の伸びは以外とゆっくりで、ほぼ例年通りに摘採が始まりました。摘採期間中も涼しい日が



乗用摘採機で一気に!

続き、新芽は伸びすぎることなく適期に収穫できたため、より高品質な荒茶を揉み上げることができました。

6月になり摘採が終わった茶畑では、来月中旬に行われる2番茶の摘採に向けて裾刈り・更新のほか草刈りなどの管理作業へと入っていきます。茶畑での作業は”お茶摘み・お茶刈り”の摘採作業がメインのように思われがちですが、1年の作業から見ればそれはわずかな部分で、日々の地道な管理作業があるからこそ良い新芽が育まれるのです。



朝霧に包まれた茶畑

### 茶畑に東屋 (あずまや) が建ちました!

この東屋は茶畑の見学に訪れた方の休憩や各種イベントなどに使うため建てたもので、冬の間から準備を進めて来ました。4月27日に上棟し5月半ばの新茶摘採前に合わせて建物は完成、あとは土間のコンクリート打設を残すだけです。



建物が完成!

上棟作業風景

当初の計画では丸太を組み合わせた簡易な建物の予定でしたが、できあがってみれば20人ぐらいいれる本格的な東屋となりました! 今後茶畑の見学会なども企画して行きたいと思っておりますので、その節は皆さまもぜひお越しになってみてください。



### 恒例の黒川中学校お茶摘み



黙々と...

5月23日、岐阜県茶総合品評会に出品するお茶の摘み取りが、黒川中学校生徒の皆さんにより行われました。よい芽だけを選びながら「一芯二葉」の摘み方を守って摘み取っていきますが、茶畑にこだまする野鳥のさえずりとは対照的に、黙々と手先に集中して摘み取っていました。

この日摘み取った新芽は、すぐに白川町の加工施設へ運ばれじっくりとていねいに揉み上げられ6kgほどの荒茶ができあがりました。後日選別の作業を経て品評会へと出品されますが、品評会では上位入賞してくれることでしょう...



しっかり摘めたかな?